

カメラ ま ち の 出 来 事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし



山田方谷生誕200年記念事業 (6月11日、12日 総合文化会館ほか)

山田方谷生誕200年記念事業実行委員会と漢字文化振興会の主催で「第4回全国藩校サミットin高梁」が開かれました。全国から藩校関係者や一般参加者約800人が集い、先人の遺訓を学ぶとともに藩校教育を今に生かすことをテーマとして研究協議を行いました。

徳川宗家18代恒孝氏が「江戸の文化を支えた教育と心」の演題で記念講演。基調講演や分科会も行われました。

26日には、同会場で高梁山田方谷に学ぶ会の主催で記念事業も行われ市民や方谷研究者ら約400人が参加しました。



26日の記念行事で吉備国際大学演劇部が演じた方谷をテーマにした演劇

みんなイキイキ!子どもが主役 (6月25日 栄町商店街)

新高梁市発足記念「わくわく子どもフェスタ21」が開かれ、親子連れらやグループ約4000人が、多彩な手づくり遊びやステージイベントを楽しみました。

特設ステージでは、子どもたちによるダンスや一輪車など日ごろの練習成果を披露。また、焼きパンづくりや木工細工、ビーズアクセサリーなど約30のコーナーが設けられ、子どもたちが主役の一日となりました。



試作さくらんぼの収穫 (6月14日 備中町平川地内)

備中地域局は、県と市で試作している平川山添地区のさくらんぼハウスで、地元の平川小学校の児童を招き収穫体験会を行いました。参加した児童約30人は、真っ赤に熟した「高砂」の実を一粒ずつ手にとり、歓声を上げながら収穫しました。

結実試験は今年で2年目。ハウス内で12種類280本の木を育成しています。



(7月1日 自宅/宇治町宇治)

この日、羽賀松代さん(宇治町宇治)が100歳の誕生日を迎え、市長らが自宅を訪問して長寿を祝いました。花束や記念品を手渡されると「みんなに祝ってもらいたい」と感謝の言葉を述べられました。長寿の秘訣は「しんが丈夫なおかげ」だそうです。

100歳おめでとうございます

(7月1日 自宅/成羽町吹屋)

田村哉さん(成羽町吹屋)も、7月2日に100歳の誕生日となるため、市長らが自宅を訪問して長寿を祝いました。花束や記念品を手渡されると感慨深く「みんなの支えがあったおかげ」と感謝の言葉を述べられました。長寿の秘訣は「好き嫌いせず何でも食べること」だそうです。

市内で100歳以上の人は、7月5日現在23人(男性2人、女性21人)。



美しいまちづくりのために

(6月10日 川上町地頭地区内)

川上町環境衛生協議会の主催で、不法に投棄されたごみのクリーン作戦が行われました。作業には地元業者が協力。参加者約20人は「美しい自然に」と思いを込めて取り組みました。回収したごみの総量は4トントラック2台、2トントラック1台分にも上り、空き缶・空き瓶のごみの他、冷蔵庫やタイヤ、紙おむつまでもが捨てられていました。

有漢で風のコンサート

(7月9日 有漢地域センター)

有漢地域でまちづくりを進める「風の会」と同まちづくり協議会の主催で、「ウインドコンサート(風の音楽会)」が開かれました。山陽女子中学高校吹奏楽部とジャズオーケストラ「PAGE ONE(ページワン)」が演奏。子ども連れら約150人は、軽快な音楽に大きな拍手を送っていました。



元プロ野球選手から指導

(7月10日 神原スポーツ公園)

新市発足を記念して「NHK少年野球教室」が開かれました。講師は、野球評論家の鈴木啓示さんとNHK野球解説者の梨田昌孝さん。高上川学童軟式野球連盟所属の少年団10チームから約180人が参加。キャッチボールやバッテリーへの指導を中心に打撃の基本などを教わり、楽しみながら野球の基礎を身に付けていました。

